



令和4年度発行 静岡県グリーンボンド レポーティング
令和5年12月



目次

第1部 静岡県の目指す姿・SDGsに向けた取組

静岡県の新ビジョン 後期アクションプラン（総合計画）	1
環境と経済が両立した社会の形成	3

第2部 令和4年度静岡県グリーンボンドの概要

令和4年度 グリーンボンド発行概要	4
令和4年度 グリーンボンド投資表明結果	5

第3部 令和4年度グリーンボンド・フレームワークに基づくレポーティング

令和4年度 資金充当状況・環境改善効果	6
令和4年度 グリーンボンドの資金使途について	7



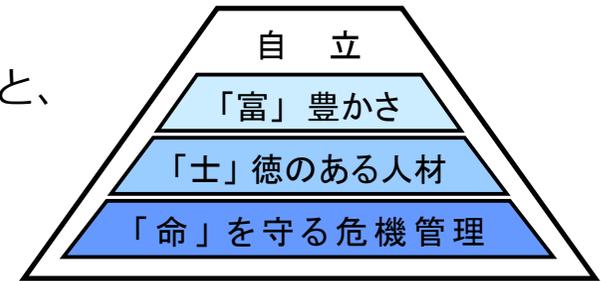
静岡県を目指す姿・ SDGsに向けた取組

静岡県の新ビジョン 後期アクションプラン(総合計画)①

<基本理念>

富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくり ～東京時代から静岡時代へ～

美しく調和した富士山の姿のように、命を守る危機管理のもと、徳のある人（士）と豊かな物産（富）を備えた、自立した地域づくりを進める



(1) 東京時代から静岡時代へ ～未曾有の危機を克服して新しい未来を拓く～

- 新型コロナ危機を契機に、東京一極集中の時代から地方活躍の時代へ
- 東京時代から静岡時代への幕開け、富国有徳の「美しい“ふじのくに”」づくりを推進

(2) 静岡県を^{ドリームズ}Dreams ^{カム}come ^{トゥルー}true ^{イン}in ^{ジャパン}Japan の拠点に

- コロナ禍により、地域のポテンシャルを活かし、地方が変革の主体となる時代が到来
- 本県は誰もが努力をすれば自らの夢を実現できるという、活躍の舞台となりえる

(3) 静岡県をSDG s のモデル県に

- 豊かな自然や地域資源に恵まれた本県を、世界に輝く「SDG s のモデル県」に
- 環境と経済の両立する地域を形成することで、将来にわたり持続可能な発展を実現

静岡県の新ビジョン 後期アクションプラン(総合計画)②

新ビジョンに掲げる政策とSDGsの関係

◆ 新ビジョンに掲げる政策

- 「富国有徳」の美しい“ふじのくに”の実現に向け、12の政策を掲げ、総合的に政策を推進
- この取組の推進がSDGsの17の目標達成につながる

◆ SDGsとは

- 「持続可能な開発目標（SDGs）」は、持続可能な社会の実現を目指し、2015年9月に国連で採択された
- 2030年に向けて、すべての国々に普遍的に適用される17の目標に基づき、経済・社会・環境をめぐる広範な課題への統合的な取組が求められている



12の政策	政策分野と施策・取組の方向を示す 34の政策の柱
1 命を守る安全な地域づくり（新たなリスクへの備えの強化）	1 危機管理体制の強化 2 防疫対策の強化(新しい感染症や再流行の感染症等) 3 防災・減災対策の強化 4 安全な生活の確保と交通安全の推進
2 安心して暮らせる医療・福祉の充実	1 医療提供体制の確保・充実と健康寿命の延伸 2 いつまでも自分らしく暮らせる長寿社会づくり 3 障害のある人が分け隔てられない共生社会の実現 4 地域で支え合う安心社会づくり
3 デジタル社会の形成	1 地域社会のDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進 2 行政のデジタル化の推進
4 環境と経済が両立した社会の形成	1 脱炭素社会の構築 2 循環型社会の構築 3 「命の水」と自然環境の保全
5 子どもが健やかに学び育つ社会の形成	1 結婚の希望をかなえ、安心して出産や子育てができる環境づくり 2 すべての子どもが大切にされる社会づくり
6 “才徳兼備”の人づくり	1 「文・武・芸」三道鼎立の学びの場づくり 2 次代を担うグローバル人材の育成
7 誰もが活躍できる社会の実現	1 活躍しやすい環境の整備と働き方改革 2 誰もが理解し合える共生社会の実現
8 富をつくる産業の展開	1 DXによる産業構造の改革 2 地域主導型の経済政策「フジノミクス」の推進 3 リーディングセクターによる経済の牽引 4 富を支える地域産業の振興 5 農林水産業の競争力の強化
9 多彩なライフスタイルの提案	1 魅力的な生活空間の創出 2 新しい働き方の実践 3 人の流れの呼び込み
10 地域の価値を高める交通ネットワークの充実	1 産業や暮らしを支える交通インフラの強化 2 世界に開かれた玄関口の機能強化
11 “ふじのくに”の魅力の向上と発信	1 スポーツの聖地づくり 2 文化・芸術の振興 3 美しい景観の創造と自然との共生
12 世界の人々との交流の拡大	1 世界クラスの資源を活かした観光交流の拡大 2 地域外交の深化と通商の実践

環境と経済が両立した社会の形成

第4次環境基本計画の推進（2022年度～2030年度）

将来像：地球環境を守り、地域資源を活かし共に支え合う、
「環境と生命の世紀」にふさわしい"ふじのくに"の実現

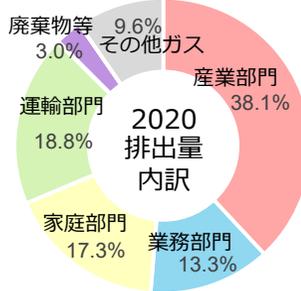
脱炭素社会の構築

目標 2030年度温室効果ガス排出量46.6%削減(2013年度比)

<排出状況と削減目標>

(単位：万t-CO2)

部門	2013 基準	2030 目標	2020 実績
排出量	3,355	1,884	2,738
吸収量	—	△ 92	△ 58
計	3,355	1,792	2,680
削減率	—	△46.6%	△20.1%



企業への脱炭素化支援

- ・中小企業の脱炭素化促進のプラットフォームとなる「企業脱炭素化支援センター」を設置（R4～）
- ・中小企業等への省エネ設備導入補助制度の拡充（R5）
- ・企業のエコアクション21認証取得を支援（登録数全国1位）

建築物・住宅の省エネ化

- ・「県有建築物ZEB化設計指針」を策定し、率先して県有施設のZEB化を推進（R4）、民間建築物のZEB化設計への補助制度を創設（R5）
 - ・新築の省エネ住宅への支援制度を創設（R4～）
- ※ZEB：室内環境の質を維持しつつ、省エネと再エネでエネルギー消費量ゼロを目指した建築物

ESG金融の普及拡大

- ・金融機関や経済団体と連携し、事業者等に対するESG金融に関する情報提供や県によるグリーンボンド発行を通じ、ESG金融の普及拡大に向けた機運醸成を図る

循環型社会の構築

◆海洋プラスチック防止「6R県民運動」

- ・海洋プラスチックごみの発生抑制と流出防止の実践行動を呼びかける「海洋プラスチックごみ防止『6R県民運動』」を展開



◆食品ロス対策の推進

- ・家庭や外食での食品ロス削減を啓発する小中学生を対象とした出前講座を実施
- ・消費者や事業者を対象とした食品ロス削減フェアを新たに実施



「命の水」と自然環境の保全

◆水資源の適正な管理と有効利用の促進

- ・地下水位計の計画的な更新及び地盤沈下調査への人口衛星画像解析の導入により観測体制を強化し、地下水障害を防止



◆南アルプスをより良い形で次代に引き継ぐ取組

- ・ユネスコエコパークに登録され、他に類を見ない希少かつ貴重な自然環境を現在に残す南アルプスを、より良い形で次代に引き継ぐため、現地に触れ、知り、理解するための環境教育の普及や知見が不足する現地の研究活動支援などに関する取組を重点的に実施



第2部

令和4年度 静岡県グリーンボンドの概要

令和4年度 グリーンボンド発行概要

令和4年度、静岡県初となるグリーンボンドを発行

- 環境投資に関心の高い投資家層の拡大による資金調達基盤の強化や、県内グリーン投資家の機運醸成を図るため、令和4年度に静岡県初となるグリーンボンドを発行しました

◆ 令和4年度 発行概要

銘柄名称	静岡県第1回公募公債（グリーンボンド）
年限	5年（満期一括償）
発行額	50億円
利率	0.150%
条件決定日	令和4年9月16日
発行日	令和4年9月29日
格付	AA+（R&I） /A1（Moody's）
主幹事	大和証券 みずほ証券（ストラクチャリングエージェント）
第三者評価	本県フレームワークに対し、株式会社格付投資情報センター（R & I）より国際資本市場協会（ICMA）によるグリーンボンド原則2021及び環境省グリーンボンドガイドライン2022年版に適合しているとの第三者評価を取得

令和4年度 グリーンボンド投資表明結果

幅広い投資家様より投資表明を獲得

- 令和4年度グリーンボンドでは、県内の事業法人様、金融機関様をはじめ、多くの投資家様に本県グリーンボンドの発行意義に共感いただき、新たな投資家様も多く含む51件の投資表明をいただくことができました

◆ 投資表明投資家一覧（五十音順）

1	伊豆市
2	一般財団法人静岡県勤労者信用基金協会
3	一般財団法人静岡県年金福祉協会
4	一般社団法人広島県山行苗木残苗補償協会
5	エスピトーム株式会社
6	江戸川区
7	岳南排水路管理組合
8	学校法人島田学園
9	カナエ工業株式会社
10	株式会社コーゲツ
11	株式会社三十三銀行
12	株式会社ジェイエイ遠中サービス
13	株式会社静岡銀行
14	株式会社清水銀行
15	株式会社十六銀行
16	株式会社第四北越銀行
17	株式会社筑邦銀行
18	株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ
19	株式会社はいやく
20	株式会社東日本銀行
21	株式会社ふじおやま
22	株式会社北洋銀行
23	株式会社北海道銀行
24	株式会社みずほ銀行
25	株式会社三菱UFJ銀行

26	株式会社ヤマシタ
27	株式会社山梨中央銀行
28	株式会社琉球銀行
29	木内建設株式会社
30	公益財団法人静岡県スポーツ協会
31	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林保険センター
32	三恵商事株式会社
33	静岡県経済農業協同組合連合会
34	静岡県建設産業国民健康保険組合
35	静岡県土地改良事業団体連合会
36	静岡製機株式会社
37	しずおか焼津信用金庫
38	信金中央金庫
39	静岡信用金庫
40	大同ばね株式会社
41	筑紫野市原田区会
42	天龍製鋸株式会社
43	日本コープ共済生活協同組合連合会
44	日本再共済生活協同組合連合会
45	日本地震再保険株式会社
46	浜松商工会議所
47	平井工業株式会社
48	富士運送株式会社
49	富士市
50	三島信用金庫
51	山本建設株式会社



第3部

令和4年度
グリーンボンド・フレームワーク
に基づくレポーティング

令和4年度 資金充当状況・環境改善効果

エネルギー効率改善事業、資源循環事業を中心に資金を充当

◆ 資金充当状況・環境改善効果

グリーン適格プロジェクト分類	対象プロジェクト	充当額（百万円） （充当割合）	充当事業	想定される環境改善効果
エネルギー効率	● 県有建築物のZEB化	628(13%)	● 交通管制センター庁舎建築事業	● ZEBReady相当(BELS認証令和5年度取得予定)
			● 交番・駐在所整備事業 （高断熱化、省エネ設備導入）	● 整備箇所：5棟（静岡市内2棟、浜松市内2棟、富士市内1棟の交番施設） ● 導入設備：高断熱サッシ、エコキュート等 ● ZEBReady相当
	● 県有施設・設備の新築・更新・改修 （照明のLED化、空調設備の更新、高断熱化等）	1,212(24%)	● 県有施設整備事業（LED化）	● 整備箇所：5箇所（県庁、農林技術研究所茶業研究センター、県立高校3校） ● 導入件数：3,647灯 ● 消費電力削減量：87.91MWh/年 ● CO2排出削減量：37.45t-CO2/年
	● 信号機、道路照明灯等の新設・更新 （LED化）	606(12%)	● 交通安全施設等整備事業 （信号機のLED化）	● 導入件数：車両用信号 2,574灯 歩行者用信号 2,661灯 ● 消費電力削減量：2,518.3MWh/年 ● CO2排出削減量：629.6t-CO2/年
再生可能エネルギー	● カーボンニュートラルポートの形成	53(1%)	● カーボンニュートラルポート形成推進事業（御前崎港）	● バイオマス発電用燃料受入れのための環境整備 ● 整備実績：防舷材 1基、係留杭 1基 ● CO2排出削減量（見込）：約46万t-CO2/年
生物自然資源及び土地利用に係る環境持続型管理	● 県営林の維持管理（林道整備） ● 間伐などの適切な森林整備	134(3%)	● 県営林道整備事業	● 整備実績：9路線（17箇所） ● 整備距離：3,135m
			● 社会環境基盤重点林道整備事業	● 整備実績：1路線（3箇所） ● 整備距離（予定）：67m（令和5年度施工予定）
汚染の防止と管理に関する事業 （サーキュラー・エコノミー）	● 県有建築物における県産材による木造化、木質化の推進	2,367(47%)	● 職業能力開発短期大学校整備事業	● 県産材使用実績：757㎡
			● 大仁警察署建設事業	● 県産材使用実績：195㎡
			● 県立磐田学園改築整備事業	● 県産材使用実績：94.8㎡
合計		5,000(100%)		3か所計1,046.8㎡

令和4年度 グリーンボンドの資金使途について①

エネルギー効率①

対象プロジェクト	充当事業	環境改善効果
県有建築物のZEB化	● 交通管制センター庁舎建設事業	● ZEBReady相当(BELS認証令和5年度取得予定)
	● 交番・駐在所整備事業 (静岡中央署弥勒本通交番、静岡南署下川原交番、 浜松中央署佐鳴台交番、細江署引佐町交番、 富士署須津交番)	● 整備箇所：5棟（静岡市内2棟、浜松市内2棟、富士市内1棟の交番施設） ● 導入設備：断熱サッシ、エコキュート 等 ● ZEBReady相当

交通管制センター庁舎建設事業

事業概要

- 交通管制センター庁舎の老朽化に伴い、2021年から建替えに向けた建築設計を開始
- 県有施設の徹底したエネルギー効率化を図るため、LED、人感センサー等を取り入れた新庁舎を建築
- 省エネルギー性能に優れた建築物に認証される「BELS認証」を令和5年度に取得予定

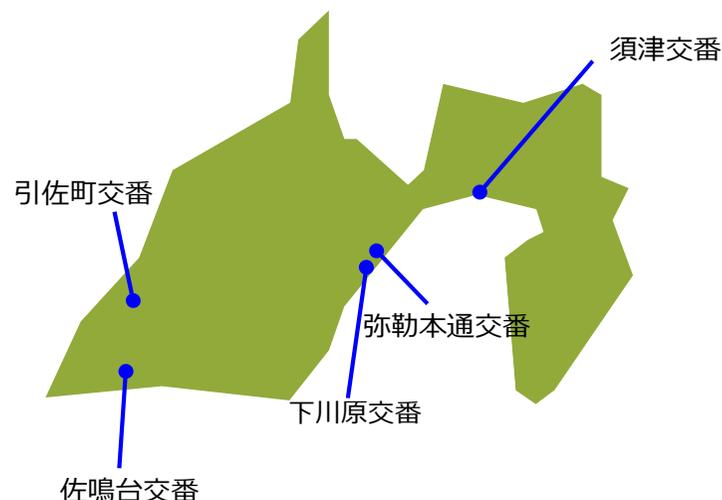


交通管制センター庁舎

交番・駐在所整備事業

事業概要

- 「県有施設ZEB化設計指針」の策定に先立ち、5棟の交番をZEB（Net Zero Energy Building）仕様で設計。ZEB化により50%のエネルギー削減見込み
- 交番は鉄骨造であり、外気の影響を受けやすい点を踏まえ、高性能な断熱サッシを導入。給湯設備には、ヒートポンプ技術を用いたエコキュートを採用し、CO2の排出を抑制



令和4年度 グリーンボンドの資金使途について②

エネルギー効率②

対象プロジェクト	充当事業	環境改善効果
県有施設・設備の新築・更新・改修（照明のLED化、空調設備の更新、高断熱化等）	<ul style="list-style-type: none"> 県有施設整備事業（県庁、農林技術研究所茶業研究センター、沼津工業高等学校、清水東高等学校、磐田南高等学校におけるLED化） 	<ul style="list-style-type: none"> 整備箇所：5箇所 導入件数：3,647灯 消費電力削減量：87.91MWh/年 CO2排出削減量：37.45t-CO2/年
	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全施設等整備事業（信号機のLED化） 	<ul style="list-style-type: none"> 導入件数：車両用信号 2,574灯 歩行者用信号 2,661灯 消費電力削減量：2,518.3MWh/年 CO2排出削減量：629.6t-CO2/年

県有施設整備事業

事業概要

- 県庁舎東館、駐車場等に設置されている蛍光灯や水銀灯をLED化
- 農林技術研究所茶業研究センターの新製品開発実験棟改修工事にあたって、LED照明を導入
- 「学校施設長寿命化整備指針」に基づいた、沼津工業高等学校、清水東高等学校、磐田南高等学校の施設老朽化対策に際し、既存照明をLED化



農林技術研究所茶業研究センター



県庁舎東館

交通安全施設等整備事業

事業概要

- 「まちづくり、地域交通の脱炭素化」策の一環として、信号機のLED化を実施
- 他県と比較し信号機のLED化が遅れていた現状を踏まえ、今後も更なるLED化を進めていく方針



電球式



LED



電球式



LED

令和4年度 グリーンボンドの資金使途について③

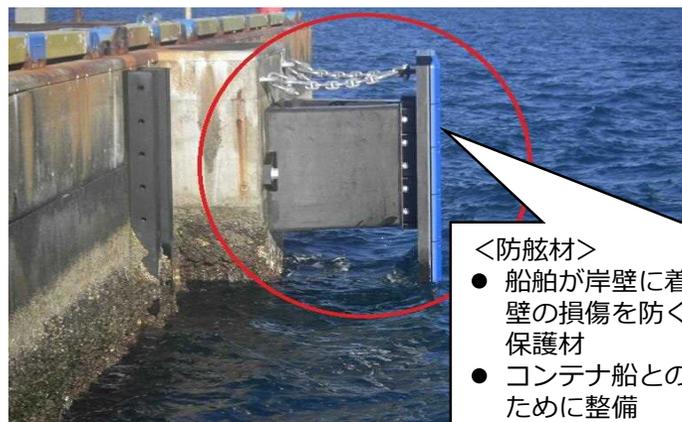
再生可能エネルギー

対象プロジェクト	充当事業	環境改善効果
カーボンニュートラルポートの形成	● カーボンニュートラルポート形成推進事業（御前崎港）	● 整備実績：防舷材1基 係留杭1基 ● CO2排出削減量（見込）：約46万t-CO2/年

カーボンニュートラルポート形成推進事業

事業概要

- 官民一体となった港湾地域全体での脱炭素化の取組を通じて、カーボンニュートラルポート（CNP）の形成を目指す
- CNP形成計画を策定するとともに、計画策定に先駆けて、港湾地域で実施される脱炭素化に向けた取組に対応
- 御前崎港において、バイオマス発電用燃料受入れのための環境整備を実施。同規模の石炭火力発電所を稼働させる場合と比べ、年間約46万トンのCO2削減が見込める
- 燃料運搬船の荷下ろし作業には数日要するため、コンテナ船寄港時には2隻同時着岸が必要
- 2隻着岸には、新しく防舷材と係留杭を設置する必要があり、県単独事業として設置工事を実施



防舷材

<係留杭>

- 船舶を岸壁に繋ぎ止めるロープをかけるための施設
- コンテナ船との2隻同時着岸に対応するために整備

<防舷材>

- 船舶が岸壁に着岸する際に、船体及び岸壁の損傷を防ぐために岸壁に設置する保護材
- コンテナ船との2隻同時着岸に対応するために整備



係留杭

令和4年度 グリーンボンドの資金使途について④

生物自然資源及び土地利用に係る環境持続型管理

対象プロジェクト	充当事業	環境改善効果
県営林の維持管理（林道整備） 間伐などの適切な森林整備	● 県営林道整備事業（青野八木山線、竹ノ沢線 等）	● 整備実績：9路線（17箇所） ● 整備距離：3,135m
	● 社会環境基盤重点林道整備事業（大尾大日山線）	● 整備実績：1路線（3箇所） ● 整備距離（予定）：67m（令和5年度施工予定） ※令和4年度は設計のみ

県営林道整備事業

事業概要

- 林内道路網の整備や森林の整備及び管理の推進により、林業経営の向上、森林の持つ多面的機能の高度発揮、山村地域の生活環境の改善、振興等の向上へと繋げる

社会環境基盤重点林道整備事業

事業概要

- 複数の市町を連絡する公共性の高い森林基幹道の国庫補助事業の促進型等となる林道の整備
- 林道、林業専用道、森林作業道などを効果的に組み合わせ、林内路網のネットワーク化を促進

指標区分	新ビジョン指標・分野別計画目標	現状値	R3	R4	R5（目標）	R7（目標）
成果	木材生産量（万m3）	45.2	45.2	45.9	50.0	50.0
活動	効率的な森林整備を実現する路網の延長(km)	5,196	5,196	5,413	5,470	5,910



青野八木山線



竹ノ沢線



大尾大日山線

令和4年度 グリーンボンドの資金使途について⑤

汚染の防止と管理に関する事業（サーキュラー・エコノミー）

対象プロジェクト	充当事業	環境改善効果
県有建築物における県産材（スギ・ヒノキ等）による木造化、木質化の推進	● 職業能力開発短期大学校整備事業（静岡県立工科短期大学校講堂）	● 県産材使用実績：757㎡
	● 大仁警察署建設事業（伊豆中央警察署）	● 県産材使用実績：195㎡
	● 県立磐田学園改築整備事業（静岡県立磐田学園）	● 県産材使用実績：94.8㎡

職業能力開発短期大学校整備事業

事業概要

- グローバル化や科学技術の進展による大きな変化に対応できる人材を育成するため、清水技術専門学校及び沼津技術専門校の教育内容を高度化し、令和3年4月に工科短期大学校（静岡キャンパス、沼津キャンパス）を開校
- 講堂内の床、壁に県産材を使用し、木質化を図り、森林資源の循環利用を促進



静岡県立工科短期大学校講堂

大仁警察署建設事業

事業概要

- 旧大仁警察署の老朽化に伴い、新たな庁舎として伊豆中央警察署を建設
- エントランスホールの内装に県産材を使用し、森林資源の維持を図り、来庁者を迎えられる明るい空間を実現



伊豆中央警察署

県立磐田学園改築整備事業

事業概要

- 老朽化した磐田学園を改築し、居室の個室化等により児童の生活環境の改善を図り、行動障害の著しい児童や被虐待児等、専門療育が必要な障害児への支援の充実を図る
- 県産材を用いた格子トラスで、大空間の屋根架構を形成した温かみのある空間



磐田学園機能訓練棟



静岡県

お問い合わせ：静岡県 知事直轄組織 政策推進局 財政課

メールアドレス：zaisei@pref.shizuoka.lg.jp

静岡県IRサイト：<http://www.pref.shizuoka.jp/governor/ir2002/>

本県紹介動画：<https://youtu.be/TSkTeB-KE40>

TEL：054-221-2036

FAX：054-221-2750